

アイダホ州：小麦作柄と気象状

2005年8月2日

2005年7月31日現在

7月31日に終わる1週間の気温は前週より多少下がったが、平年より高めであった。平均気温はN地区では平年を2~4度F上回り、SW地区の平均気温は2度~5度F平年を上回った。N地区の最高気温は89~104度F、SW地区の最高気温は92~100度であった。降水はN地区、SW地区では記録されなかった。Topsoilの水分並びに灌漑用水の供給状態は前週より悪化した。1週間の州平均農作業稼働日数は6.9日(前週:6.7日)であった。

冬小麦は97%が登熟期にあり、昨年並びに5年平均と並んだ。冬小麦の収穫は全州の11%にて完了した。N地区の完了は10%(昨年:6%、5年平均:16%)した。春小麦は全体の73%が登熟期となった(昨年同期:77%、5年平均:74%)。SW及びSC地区にて春小麦の収穫が開始されたが、N地区では未だであった。春小麦の作柄は“Excellent”の評価が多少減り、“Fair”がその分増えた。

USDA発表の7月1日付け冬小麦の生産量予想では、単位収量は6月1日付け予想より1.0 bu/ac増加し、92.0 bu/acreとなった。6月中の適時の降雨、異常高温が無かったことが6月1日付け予想より増収となった要因と言える。春小麦の予想では、単位収量は80.0 bu/acで昨年実績より1 bu/ac多い結果であった。詳細は別表の通り。

Topsoil 土壌水分：2005年7月31日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This Week (%)	5	45	50	0
Last Week (%)	3	33	63	1

小麦生育状況：2005年7月31日現在

	North			Southwest			South Cent.			Sate		
	05	04	Ave	05	04	Ave	05	04	Ave	05	04	Ave
Spring W. Harvested	0	0	3	3	18	21	2	18	6	0	4	3
Winter W. Harvested	10	6	16	26	62	49	14	37	33	11	16	21

vg. means 5-year 2000-2004 crop average. 05 means 2005, 04 means 2004 crop.

小麦の作柄状況：2005年7月31日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Whet					
This week (%)	0	1	5	65	29
Last week (%)	0	1	5	65	29
Spring Wheat					
This week (%)	0	0	4	66	30
Last week (%)	0	0	3	66	31

灌漑用水状況：2005年7月31日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	0	3	32	57	8

Source : Idaho Agricultural Statistics Service

7月1日付けUSDA冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
June 1				July 1			
ID	700	730	90.0	91.0	92.0	63,000	67,160
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

7月1日付けUSDA春小麦生産予想：

Crop	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
June 1				July 1			
ID	490	450	79.0	-	80.0	38,710	36,000
State	13,174	13,637	43.2		43.2	568,918	588,740

当該作柄・気象レポートに付いてのご質問は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : <mailto:ogawa.max@omicnet.com>